

校長室から応援メッセージ(2)

令和6年6月14日(金)

「周囲に開かれた、自分だけの世界を」

皆さん、こんにちは。最高気温30度を超える日が当たり前に続くようになりました。夏の過ごし方について考える時期です。先日、模試の結果が手元に届き、また夏期講習会の予定も本日示されます。前期と後期の授業の合間の期間をどうするか検討してほしいと思います。

志望校合格に向け最後の最後まで頑張る、それが受験生のシンプルな姿勢です。社会の情報化や入試制度の変化が進み、大学受験が必要以上に数値情報に振り回されていると感じますが、少なくとも夏が過ぎ秋を迎えるまでは初志貫徹の気構えを崩さないでください。

夏期講習会は日頃の授業と違い高校生も参加します。現役生も浪人生もみな志を同じくする同志です。同志の存在を肌で感じ、その一方で隣が誰であってもテキストとそれに向き合う私だけが自分の世界です。周囲に開かれた、そういう自分の世界を大切にしてください。

私は自分が予備校に通っていた時代を振り返ります。大学で特定の何かを学びたいという目標もなく、その先に何かあるのかも考えませんでした。自分に期待したのは予備校に通い続けることだけ。その日々は今振り返って人生のかけがえのない時間であったと思います。

皆さんは将来、山梨予備校で過ごした日々を振り返った時、模試の成績表を手にしばらくうなだれていたけどやがて顔を上げた自分、猛暑の中をせっせと夏期講習会に通った自分、そういう自分からどのようなメッセージを受け取るのでしょうか。私が何を申し上げたか、などは全く記憶に残っていないと思いますが、そんなことを案ずることなく私は自分の仕事に全力を尽くすだけです。皆さんの健闘を祈ります。